G1　チャンピオンシップ　第二回　記録ログ1日目
「動物に好かれちまうんだ」チーム

検証
「宝探しだけで絆は産まれるのか？」

登場人物紹介

常春（ど素人枠）

①ハンター歴皆無。
②チームメンバー全員初対面。
③体力自信なし。
④リアル宝探しは人生初。

あらゆるステータスが逆境。あらゆるスペックが崖っぷちな常春。
面白い謎解きができると聞いて親切な二人に誘っていただけるも、宝探しの経験が全く無くどう立ち回ればいいかわからない。猛者が蔓延る中、ぶっちぎりの最下位からスタート。

ヒノッコ（レジェンドハンター）

・マサマサの相棒…ハンビレバーの常連。
最上級のプロハンター同士の戦いのため、この日に備えて爪を研ぐ。
足でしっかり稼いでくれる頼れる男。

マサマサ1030（プロハンター）

・ヒノッコの相棒…ハンビレバーの常連
宝探しデビューをした常春との相性はいかに？

第一章

「え、素人でハンターやっていいんですか？」

声をかけてもらったのは3週間前。ちょうど脱出ゲーム日本チャンピオンになった日の夜に二人の熟練ハンターと組むことに。
常春のハンター経験はほぼゼロ。GWの大規模オンライン企画や、過去にあったお台場企画など宝探しを全くわかってない状態。

今回の1000万の死闘を戦い抜けるか不安がよぎる。

「…なんとかなりますかね？」

「大丈夫、なんとかなるし。始まりはいつでも遅くはないです。何より宝探しは面白い。一緒に戦えることを楽しみにしています。」

優しさに満ち溢れている熟練の二人。天使の微笑みで宝探しの世界に連れ出せられた。
いいハンターとは「なにごとも受け入れる器量にある」のかもしれない。

ここから地獄の対策の日々が始まる。

第二章
「初めて遠足前で寝れませんでした」

大会前日、自分はズギューンと興奮を隠しきれず寝付けないでいた。去年のログを読み返し始めてしまったのだ。そこにあるのは数々のハンターの死闘録。各々のチームがどれだけの情熱をかけその2日に臨んだかが身に染み渡ってくる。宝探しのロマンは脱出ゲームとはまた違う素晴らしさがあるのだと予感させた。

大会前日は結局朝の8時までいろいろなシミュレーションを脳内で独りでしていた。

「いいハンターにはいい仲間がいる」
…明日が待ち遠しい。

第三章
「最高の滑り出しですね」

社長の挨拶を皮切りに我々のチームのテンションはMaxに。ウルトラクイズなどの往年のテレビ番組が持つ魔力が確かにそこにあった。

スタートした瞬間、私たちは事前に考えていた作戦を実行する。
Line通話をつなげ、常春はパソコンを起動。ヒノッコ、マサマサは自転車を確保に退出。各探索エリアを丁寧にマッピングし、二人が周遊すべき最適ルートを割り出していく。オペレーターが如く二人の行動を追いながら資料を解析する時間。離れていながら最高のチームが完成していた。今日が初対面なのにこの連携、この信頼感。宝探しは本当に素晴らしい。

いいハンターは「仲間に背中を預けることができる。」
…少しずつこの世界にハマっていく自分に気づき始める。

第四章

「停滞、そして切り返し」

1000万がかかっていることもあり、出てくるクエストはどれも曲者揃いだ。飲食系のクエストを先に済ませて後半に残した思い暗号たちに取り掛かる。私も会場をあとにして荒川を自転車で駆け巡る。難しい暗号はお互いに通話で聞き合って、ひらめきを連鎖させていく。離れていてもチームとしてのグルーブ感は収まるのを知らない。「それは多分あのことだと思う」「この言葉で検索してみるといいかも」「もうちょい足使って探してみます。」「この暗闇を味方につけましょう」初対面とは思えぬスピードでそれぞれが持ちうる武器をフル活用して先に進めていった。

いいハンターは「どんな窮地でも諦めない。」

最終章
「緊張のラスト」

周りはだんだん暗くなり、タイムリミットが迫る。我々のチームは20問中最後の暗号までたどり着いた。ここからが正念場だ。果たして最後の答えが見つかるのか。手に汗握る中、ヒノッコ、マサマサは最後までお互いを鼓舞し続ける。あまりに完璧な相棒っぷりに正直少し嫉妬してしまった。もう少し早く宝探しに出会えていれば…今日出会った仲間たちへの感謝とこれから出会うであろう様々なクエストへの期待が醸成されていく。

4年ぶりの自転車で果てしなく遠いチェックポイントでチェッカーを見つけたとき、大きくガッツポーズをしてしまった。ここでしか体験できない感動がここにある。
さぁ最後の詰め、間に合うか？

いいハンターは「逆境でこそ光る。」

検証結果

今回のログを読んで見れば明らかだろう。今回の宝探しという困難に立ち向い、初対面の自分は今までにないほど二人の熟練者と深い絆という宝物を得ることができた。

宝探しは人生を変える魔力があり、身に染みる。
そして、今日ここに新しい宝探し人生が始まることに大きな喜びを感じながら、1日目の戦いは幕を閉じた。

ドッジボール
参戦

マサマサ
参戦

帝春

参戦

採るよテッペン

KIZUNA

宝探し
最高うううううう！

テンション
上がってきた
センター
ts Center
自転車進入
整列位置

んなに食べるの！
MAPLE SYRUP

G1　HUNTING ログ 2 日目
「動物に好かれちまうんだ」チーム

第 0 章　後悔×ト×公開

1 日目報告後に我々のチームは恐怖していた。全問解けなかったのに結果を提出したのがギリギリだったからだ。「もっと早く決断すべきだったか」「あの時あぁすればよかったのか」そんな後悔を忘れるためにログに 1 日目の楽しかった思いを詰め込んでいき制限時間ギリギリに提出しました。そして、結果発表の時間になり 1 位から順に結果が公開されていく第 7 位あたりで我々の中にだめだったかと諦めの文字が頭に浮かんだ。しかし、結果は第 9 位と「まだ次にいけるチャンスがあるのか」とその瞬間に我々チームは全力で喜んだ。1 日目の結果発表後、我々のチームは 1 日目の振り返りと 2 日目の作戦会議を開いた。「最初の役割分担がよかった」「あの時の言葉に助かった」と互いの力で勝ち上がったことに喜びを感じつつ、「明日はこれが来るのではないか」「宝物は何になるんだろうか」と想像しながら我々の 1 日目は終わった。

第 1 章　寒気×ト×歓喜

2 日目は朝からのためか 1 日目と比べ、外の空気はより寒く感じた。そして、我々のチームにはリーダーのマサマサがいない。これがまた一段と心細く、寂しさを感じた。ただ、1 日目終了後にマサマサがいつも持ち歩いている動物注意のクマを託された。2 日目はこのマサマサの代わりであるクマと謎は解けるが宝探し初心者の常春と謎は解けないが経験豊富なヒノッコの 1 匹と 2 人でどうにかするしかないと思いながらスタートの合図を待った。

スタートしてすぐ、問題を見た瞬間、瑞光橋公園に向かおうとした。しかし 3 つの謎をよく見るとどう見ても瑞光橋公園を示していない。「そりゃ悪手だろヒノッコ！」と心の中のマサマサがつぶやいた。スタート地点に戻って考えることにした。「この謎はこれを表しているんじゃないか！」や「荒川区にこれっていくつあるんだろう？」「この問題はマサマサさんの得意領域じゃないか！」などと議論を交わすもイマイチ納得する答えが出ない。答えが出ないまま考えること 1 時間以上、さっそくの停滞である。スタートから 1 時間半、閃いたのは常春だった。さすがとしかいえない。真ん中の謎の示す場所が分かったので急いで現地に向かう。向かう道中でヒノッコも閃き一番右の謎も解けた。立て続けに 2 つのキーワードをゲットできたものの、最後に残った一番左の謎が全く分からない。しばらく考えたとき「そういえば以前、タカラッシュ！GP でグルジア文字が出たことあったな…もしかしてこれも異国の文字？」と思い検索をしたら大正解！！書かれている文字を次々に翻訳していく。翻訳の途中で常春が答えとなる場所を見つけ出した。あの難しい問題をチームプレイで解けたのは非常にうれしく歓喜した。しかし、示された場所に向かうも時間は 13 時 48 分。この地に隠された宝は見つけられるのか…

第 3 章　行進×ト×更新

１日目で初めて会った我々のチームですが２日目ではあのゴ〇とキ〇アのような関係に更新されていた。我々の築きあげたチームワークでようやく 3 つの手がかりを集め終え、瑞光橋公園に向かう。釣り人に報告すべきキーワードは道中で割り出した。なるほど、これは厄介そうだ。釣り人にキーワードを報告すると次にやることが分かった。人探しだ。終了まであと１時間、間に合うのか。

まずは円通寺に向かい、手がかりを見つけた。手がかりを見たとき、あの空想都市トラベルをリアルでやっているような恐怖と不安があった。儀式…？とんでもない人を探しているのではないか。だとすれば早く会って真相を解明したい！そう思って次の石浜神社と向かう。ここでもあっさりと手がかりを見つけられ、次に行く場所もすぐに分かった。最初の苦戦は何だったのかと思うほどに順調に行進していった。次の目的地である浄閑寺に向かう。ふと時計を見ると終了の時間まであとわずかではないか！間に合うのか！いや間に合わせるんだ！最後まであきらめない！やり続けることに必ず意味があるんだと。

第 4 章　完敗×ト×乾杯

我々が浄閑寺に辿り着いたとき、そこに手がかりはなかった。わずかに間に合わなかった…ワクワクと発見の喜びにアクセルがかかってきたところで終わってしまうなんて。次の目的地はどこだったのか。浄閑寺近くのドトールでこのログを書きながら考えているが全く分からない。大富豪はどこにいたのか、宝はどういうものだったのか。解けなかった謎が気になってしょうがない。最後の真相までたどり着けず、今回の宝探しは完敗した。ただ、優勝した無事に発見したチームには心からおめでとうと言えました。それは、敵だったとはいえあの難問をクリアできたことに心から尊敬できたからです。宝探し終了後にハンターたちで集まり、麺屋武者チームおめでとう！！！の合図で乾杯した。

衝擊的初日

今日は2人で
やりますっ！
荒川区立尾久

3人目から引き継がれる意志

動物注意
熊は預かった！

走るの禁止

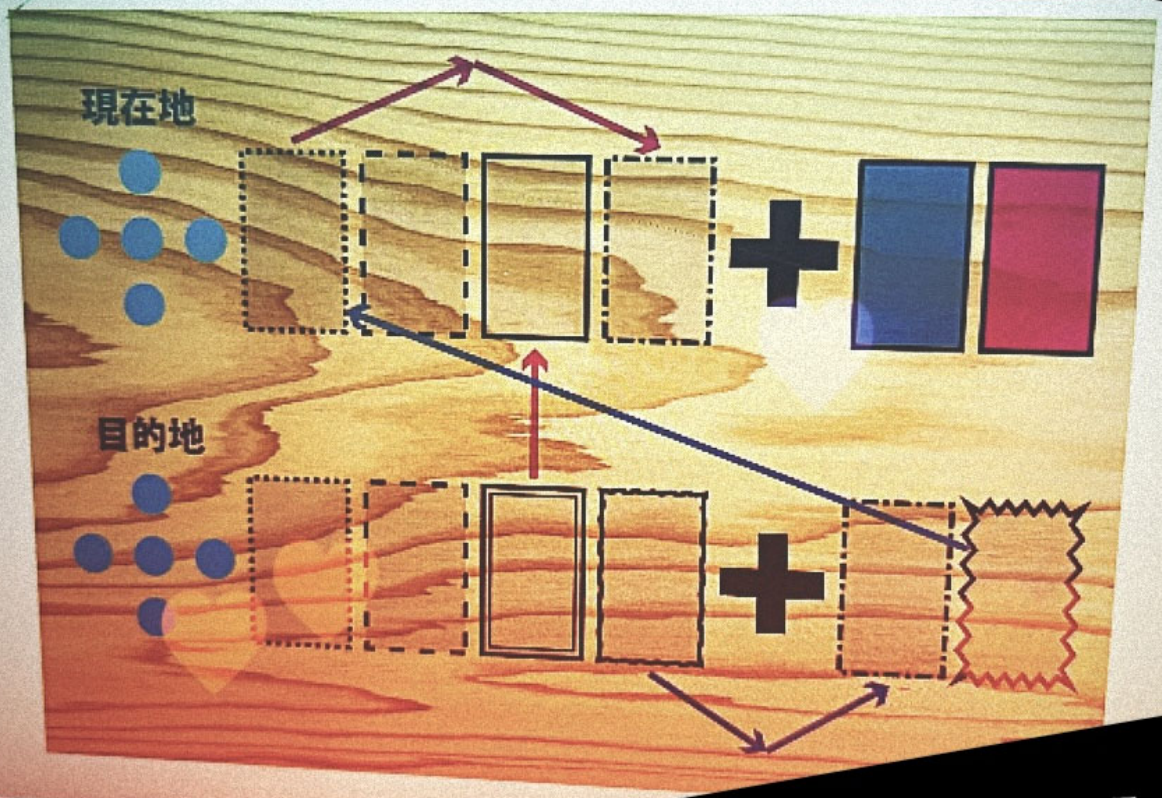
ハンターのプロ歩き
めちゃくちゃはやい

締めなかったっ！！！

最期まで

しかし現実は非常…っ！

解けなかった奴っ！！！



これ見るために
必死に歩いたっ！

今年最高の打ち上げ
宝探し歴
25018日
宝探し歴
12913日